

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域情報活用支援事業			事業番号	038-125
担当部署名	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
			有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
			有	取組	子ども読書活動の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 18 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育法 ■図書館法 						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺の地域資料・情報に関心のある方（57万人）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■多様なニーズをもつあらゆる人が地域資料の情報を活用できるようにすること。 例・堺の歴史文化に関心のある方への調査協力、資料提供 ・行政資料・統計資料等、起業やビジネス、行政関係者の課題解決支援に役立つ資料・情報提供。 					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ■図書だけではなく様々な形態の資料や書店等では入手できない行政資料・パンフレット等、散逸しがちな地域資料を収集し、利用者に提供できるよう、年間3千点程度の資料の装備、データ化を進める。 ■所蔵する歴史資料など、貴重資料の保存と、積極的な利用の向上のため、マイクロフィルム化やデジタルアーカイブ構築を進め、インターネットや館内の端末による情報発信を行う。 ■地域の記録を市民と協働でデジタル保存を行い後世に伝える。年に1回『堺研究』を発行し、堺の歴史・文化に関わる情報を全国に発信する。 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■委託業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 デジタル化したコンテンツの閲覧数	件	目標値	420,000	420,000	234,000		
		実績値	341,079	971,589			
		達成率	81%	231%			
		当該指標を選定した理由	■デジタル化したコンテンツの周知、利用量と関連するため、デジタルアーカイブ、ホームページコンテンツの閲覧数を指標に選定。(次年度から数値に波のあるHPコンテンツ1点の数値を削除予定)				
目標値の設定根拠・算出方法	■令和3年度の目標数値は削除予定コンテンツの数を除いた令和2年度実績（212,563）の10%上昇で設定						
12 活動指標(成果を上げるための手段) マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数	件	目標値	2,200	2,200	1,760		
		実績値	2,031	790			
		達成率	92%	36%			
		当該指標を選定した理由	■デジタルアーカイブの構築のためにはデジタル化が必要なため、新たにマイクロフィルム化、デジタル化した地域資料コンテンツ数を指標に選定				
目標値の設定根拠・算出方法	■マイクロフィルム化の価格上昇、予算の減少などにより目標値を修正						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	地域情報活用支援事業	事業番号	038-125
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
13 事業費 (a)	3,280	2,906	2,968	2,662	2,894	
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	7	8	7	9	8
一般財源	3,273	2,898	2,961	2,653	2,886	
14 人件費 (b)	19,800	19,600	23,900	23,900	23,900	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	23,080	22,506	26,868	26,562	26,794	

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	R3
16 事業費内訳	地域資料保存処理業務	R2	250	250	謝礼金	R2	324	324	
		R3	275	275		R3	358	358	
	地域資料マイクロフィルム化業務	R2	204	204	印刷製本	R2	268	259	
		R3	208	208		R3	355	347	
	地域資料デジタル化業務	R2	335	335	通信運搬	R2	51	51	
		R3	418	418		R3	46	46	
堺独自資料電子書籍化業務	R2	792	792	消耗品	R2	174	174		
	R3	797	797		R3	173	173		
堺市史デジタル化資料一般公開システム使用料	R2	264	264		R2				
	R3	264	264		R3				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	デジタル化したコンテンツの閲覧数	回	341,079	971,589
	②	上記①にかかる年間経費	千円	21,337	25,495
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	63	26
備考 (算出についての説明等)		■ 年間会費は 人件費 + マイクロフィルム化業務業務費 + デジタル化業務費 + 電子書籍化業務費 + システム使用料			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>■ スマートフォンをはじめとした情報機器の普及に対し、資料をデジタル化して保存・活用していくことは、資料利用の利便性や市民への非来館型サービスの拡充の観点からも有効であることが、閲覧数も上昇からも伺える。そのことから、適切な経費で地域情報活用支援事業を行うことができたと考えられる。</p>
<h4 style="text-align: left;">KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）</h4>	
19	<p>■ 下記のような事業を通じ、地域資料に触れる機会を増やすことで生涯学習の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度地域資料受入点数：2,929点（前年度受入点数に比べて約300点増加） ・令和2年度堺独自資料電子書籍化数：7点 ・2021年3月に『堺研究 43号』を発行 ・郷土資料展「浜寺物語」（関連資料約50点、展示パネル）を中央図書館と南図書館で実施。来場者は中央図書館517人（前年比約150人増）、南図書館106人（前年未実施）。 ・郷土資料展記念講演会「浜寺物語 阪神間モダニズムと阪堺文化」を実施。当日参加者25人のほか、オンラインでも動画を申込者74人が視聴。 ・貴重資料の利用は、78件366点。昨年度に比べ申込件数は減少したが、利用点数は上昇。